No. ２００８－０５

西日本執行委員会ニュース

２００７年１１月２７日
京阪神合同執行委員会書記局

１．　２００７年日本平和大会に参加

日米軍事同盟打破、基地撤去２００７年日本平和大会が１１月２３日から２４日にかけて沖縄県那覇市で開催されました。大阪分会の長田君が全損保派遣団のひとりとして参加してきました。

以下、長田君の報告を掲載します。

（日本平和大会レポート）

11 月 23 日･24 日に沖縄県那覇市で日本平和大会が開催され全損保から 13 名の派遣団が参加（大阪からも 1 名参加）しました。那覇市民会館で行なわれる全体集会の他、動く分科会として、南部戦跡めぐり・基地調査の 2 コースに分かれ第二次世界大戦時に日本で唯一地上戦が行なわれた沖縄の大きな傷跡を見てきました。私は、基地調査に参加しました。

3 年前に、米軍のヘリが墜落した普天間飛行場・毎日戦闘機の訓練が行なわれている嘉手納基地と戦争中に民間人がかくれていた洞窟（ガマ）に行ってきました。

普天間飛行場は内陸の住宅地の真ん中に作られていて、とても危険な飛行場です。飛行機やヘリの墜落の危険だけでなく、民間人が多く住んでいる町のど真ん中を占拠している為に、救急車などの緊急車両が回り道をしなければならず、到着が遅れて手遅れになったという事が、数多くあるということです。また普天間基地の近くの大学構内に米軍ヘリが墜落したとのことで、墜落現場を見に行きましたが、ほとんど墜落の痕跡は消されており、焼け焦げた木が一本残されているだけでした。ヘリが墜落した後、米軍が現場を封鎖し、日本の警察や報道陣を完全にシャットアウトし、また大学構内にも関わらず、大学の自治権までも踏みにじって現場の後処理をしてしまったとの事です。墜落したヘリには放射性物質で作られた部品が使われており、６つあった部品の内、５つしか回収できていないという事実は民間人には知らされていませんでした。日本国内で起こった事故であっても、日本には手出しをさせない米軍の姿勢に沖縄県民は強い怒りをもっています。

嘉手納基地は、嘉手納町の面積の８３％を占め、甲子園球場約 500 個分の広さを持つ基地です。ここではほとんど毎日、F15 戦闘機などの飛行訓練等が行なわれているところで

す。戦闘機の離着陸時の爆音は凄まじいもので、戦闘機が通過するだけで１～2 分くらいは何も聞こえなくなるということです。嘉手納町にある小学校でも、1 時間の授業の間に 10 回くらい戦闘機が飛んでくるのでその度に授業が１～2 分ストップするそうです。ですから小学校 6 年間の内の１年間は授業がストップしている状態です。

また嘉手納基地の滑走路に平行して作られている 2 キロに渡る防音壁（名前だけで実際は基地の外からの目隠し）・基地内にある１５基の格納庫（壁の厚さが 1 メートルあり核シェルターになる）があり、その建設にかかる多額の費用を日本が負担しています。

洞窟（ガマ）はシムクガマとチビチリガマという２つのガマに行きました。
戦場となっていた沖縄では、民間人がガマとよばれる洞窟の中で息を潜めて隠れていました。しかしすぐに米兵に見つけられ、投降をせまられていました。当時は、米兵に捕まると女は暴行をされたあと殺される・男は即銃殺されるという噂が蔓延していました。

シムクガマには約１０００人が隠れたいたそうです。このガマもやがて米軍に見つけられ、投降をせまられました。ガマの中で投降して収容所にいくか、身内でかたまって自決をするか大激論になったそうです。そんな人の中に、ハワイから帰ってきた比嘉さんという人が、「米兵は投降した民間人を殺したりはしない。」とガマの中にいる人を説得に回り、全員が助かったのです。

一方のチビチリガマでも、米兵に見つると投降か自決かの激論になったそうです。しかしここでは、まだ話合いの最中に一人の少女が「米兵に捕まって酷い殺され方をするのはいやだからお母さんの手で私を殺して」と母親に頼みました。そしてその母親は我が子を自分手で殺し後を追うように自らも命を絶ったのです。そこから連鎖的に自決が始まり、チビチリガマにいた人のほとんどが自ら命を絶っていったそうです。

今回、生まれて初めて沖縄に行きました。沖縄に米軍基地がたくさんあることや戦争中に多くの人が亡くなられたことは知っていました。でもどんな事があったのか・今もどんな事が行なわれているのかは全くしりませんでした。沖縄と言えば、青い海やサンゴ礁・リゾート・泡盛というイメージの方が強かったです。実際に行ってきて海もきれいだし、泡盛もうまかった。でも今回沖縄で見たこと・聞いたことは衝撃的でした。特にシムクとチビチリのガマは印象的でした。たった一人の正しい事実・正確な情報が全員の命を救ったという事、とても大切なことだと改めて感じました。この沖縄の地で学んだことを、一人でも多くの人に伝えていきたいと思います。そして、もっと多くの人に沖縄にいってもらって沖縄の歴史を見てきていただきたいと思います。また沖縄に行きたいです。

P.S.　那覇市でポスティングやりました。４名で５０００枚配布。
早速全損保本部に激励の電話があったそうです！！　　長田　元

以　上